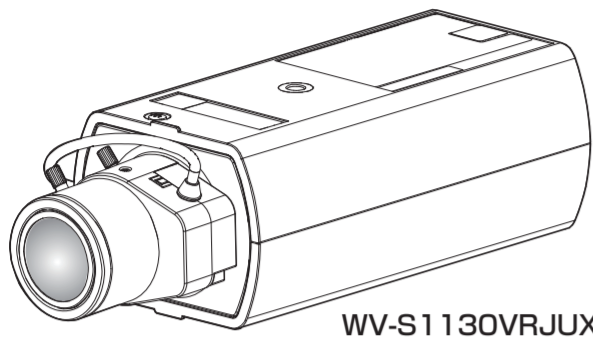


i-PRO

取扱説明書 設置編

工事説明付き

ネットワークカメラ 品番 WV-S1130VRJUX



WV-S1130VRJUX

本機に関する基本的な内容については、付属CD-ROM内の「取扱説明書 基本編」を参照してください。本機を動かすソフトウェアの操作や設定方法については付属CD-ROM内の「取扱説明書 操作・設定編」を参照してください。

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に付属の「ご使用前の」の「安全上のご注意」（13～15ページ）を必ずお読みください。**
- 説明に旧機種WV-S1130VRJ、WV-S1110VRJ、WV-Q180、WV-Q181を使います。
- 本書では、品番の一部を省略している場合があります。

i-PRO株式会社

<https://www.i-pro.com/>

© i-PRO Co., Ltd. 2022

Ns0317-5112 PGQX2148UA Printed in China

保証とアフターサービス よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理などは

■まず、お買い求め先へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名
電 話 () -
お買い上げ日 年 月 日

修理を依頼されるときは

「故障かな!?’ (付属CD-ROM内の取扱説明書 基本編) でご確認のあと、直らないときは、まず電源を切って、お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。

●製品名 ネットワークカメラ

●品 番 WV-S1130VRJUX

●故障の状況 できるだけ具体的に

i-PRO製品の「お問い合わせ」および「保証制度」については、以下の弊社サポートウェブサイトを参照してください。

https://i-pro.com/jp/ja/support_portal



アフターサービスについて、おわかりにならないとき

お買い上げの販売店へお問い合わせください。

取扱説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

「日本エリア」でお使いの場合に限ります。日本以外でお使いの場合のサービスはいたしかねます。

取扱説明書について

本機の取扱説明書は以下のような構成になっています。

- 取扱説明書 設置編 (本書)**：設置手順、取り付け、各ケーブルの接続と画角の調整について記載しています。本書はWV-S1130VRJUXを例として説明しています。
- 取扱説明書 基本編 (CD-ROM内)**：本機に関する基本的な内容を記載しています。
- 取扱説明書 操作・設定編 (CD-ROM内)**：本機を動かすソフトウェアの操作や設定方法について記載されています。

PDFファイルをお読みにするには、アドビシステムズ社のAdobe® Reader®が必要です。製品の改良などにより、ご使用上影響のない範囲で、記載されている外観などが実際の製品と異なる場合があります。

付属品をご確認ください

取扱説明書 設置編 (本書) 1式 CD-ROM *1 1枚
ご使用前に 1冊 コードラベル *2 1枚

※1 CD-ROMには各種取扱説明書および各種ツールソフトが納められています。
※2 ネットワーク管理上、必要になる場合があります。紛失しないようご注意ください。

以下の付属品は取付工事に使用します。
ワイヤー取付金具 1個
ワイヤー取付金具固定ねじ (M2.5×8 mm) 2本
(うち1本は予備ねじ)

WV-Q180、WV-Q181を使用する場合は以下は使用しません。

落下防止ワイヤー 1本
ワッシャー 1個
スプリングワッシャー 1個

設置の前に

付属品以外に必要なもの

それぞれの工事に必要なものを前もって準備しておく必要があります。

取付方法	推奨ねじまたはアンカーボルト	最低引抜強度 (1本あたり)
WV-Q180[カメラ取付台(天井用)]を使って天井に固定する。	M6×4本	562 N (57 kgf)
WV-Q181[カメラ取付台(壁面用)]を使って壁に固定する。	M6×5本	724 N (74 kgf)

※ WV-Q180もしくはWV-Q181を使って設置する手順は、それぞれに付属されている取扱説明書をご参照ください。

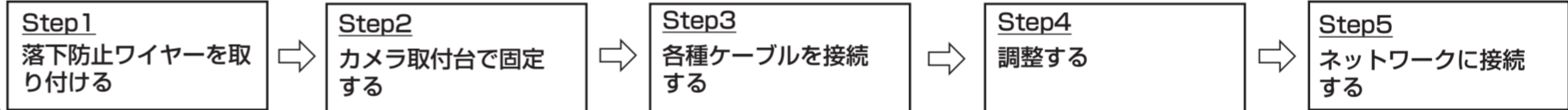
重要

- カメラとカメラ取付台 (別売り) の質量に十分耐えられる場所に取り付けてください。
- カメラ取付台 (別売り) は、建築物の基礎部分または十分な強度がある部分に取り付けてください。
- ねじの種類は取付場所の材質に合わせて選択してください。木ねじおよびきぎは使用しないでください。
- 石こうボードなど、強度が不十分な取付場所に設置する場合は、十分な補強を施してください。

設置する

設置工事を 5 ステップで説明します。

●カメラを取り外す際は設置時と逆の手順で撤去作業を実施してください。

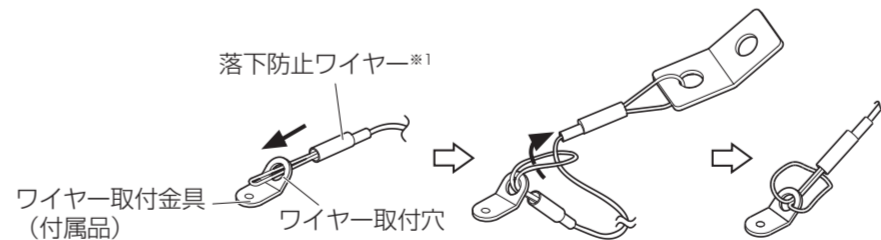


Step1 本機に落下防止ワイヤーを取り付ける

重要

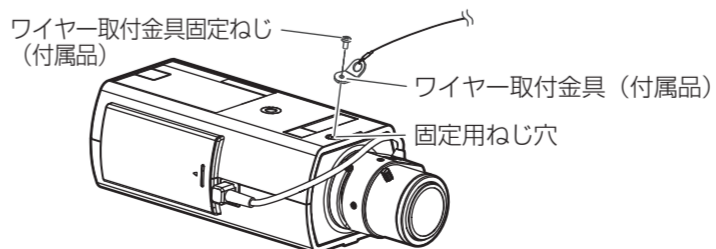
- 落下防止ワイヤーは本機と別売りのカメラ取付台の両方に付属されています。別売りのカメラ取付台 (WV-Q180/WV-Q181) をご使用の場合は、カメラ取付台に付属されている落下防止ワイヤーを使用してください。

【1】落下防止ワイヤーをワイヤー取付金具 (付属品) のワイヤー取付穴に取り付ける。



※1 WV-Q181の落下防止ワイヤーを例として記載しています。

【2】固定用ねじ穴に取り付けられているねじ (このねじは取り付けには使用しません) を外し、ワイヤー取付金具 (付属品) をワイヤー取付金具固定ねじ (付属品) で取り付ける。
推奨締付けトルク : 0.39 N · m (4 kgf · cm)

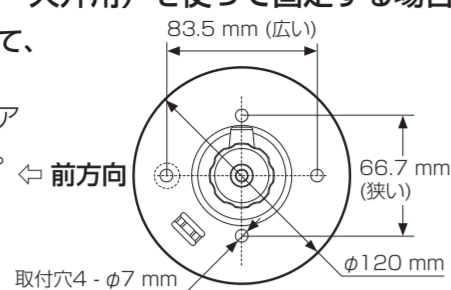


Step2 カメラ取付台で固定する

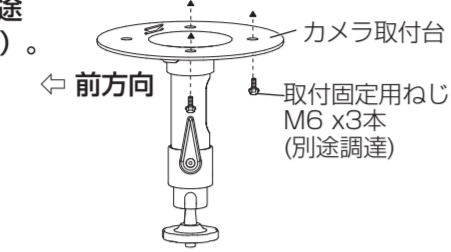
■ WV-Q180 [カメラ取付台] (別売り・天井用) を使って固定する場合

- 【1】カメラ取付台に付属の設置用型紙を使って、取付固定用ねじの穴をあける(4か所)

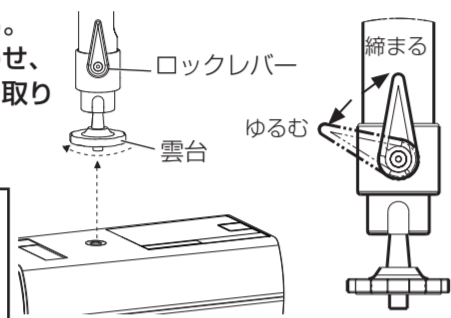
穴径や穴の深さは、ご使用のねじまたはアンカーの仕様によって決定してください。



- 【2】カメラ取付台を取付固定用ねじ3本(別途調達)で固定する(前方向以外の3か所)。(最低引抜強度 562 N {57 kgf} 以上)
※前方向の1か所は【4】で落下防止ワイヤーと共締めします。



- 【3】ロックレバーをゆるめて雲台を解除する。カメラ本体の取付ねじ穴にねじ山を合わせ、雲台を矢印の方向に回してカメラ本体を取り付け固定する。ロックレバーを締めて雲台を固定する。



重要
●必ず雲台を回して固定してください。カメラ本体を回すと雲台に大きな負担がかかり、破損するおそれがあります。

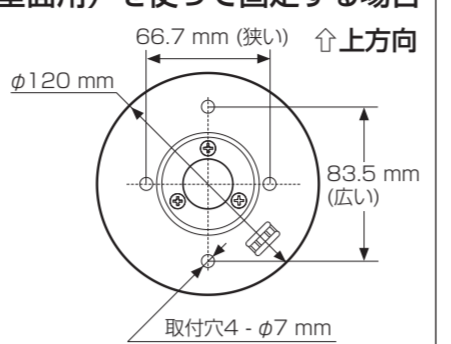
- 【4】落下防止ワイヤーを残りの取付固定用ねじ(別途調達)でカメラ取付台に共締めする。(最低引抜強度 562 N {57 kgf} 以上)



■ WV-Q181 [カメラ取付台] (別売り・壁面用) を使って固定する場合

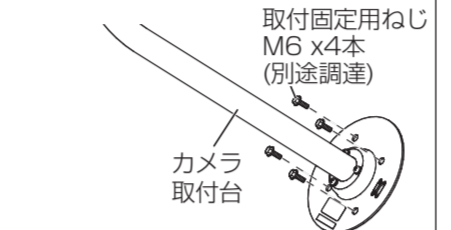
- 【1】カメラ取付台に付属の設置用型紙を使って、取付固定用ねじの穴をあける(4か所)

穴径や穴の深さは、ご使用のねじまたはアンカーの仕様によって決定してください。

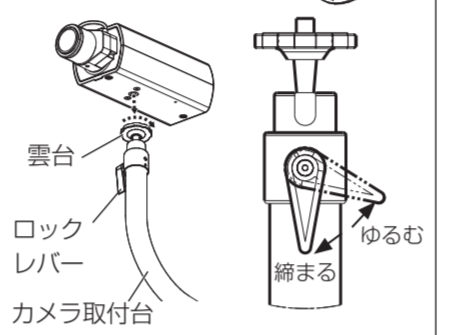


重要
●カメラ取付台は床面から2.7 m以上の高さに取り付けてください。

- 【2】カメラ取付台を取付固定用ねじ4本(別途調達)で固定する。(最低引抜強度 724 N {74 kgf} 以上)

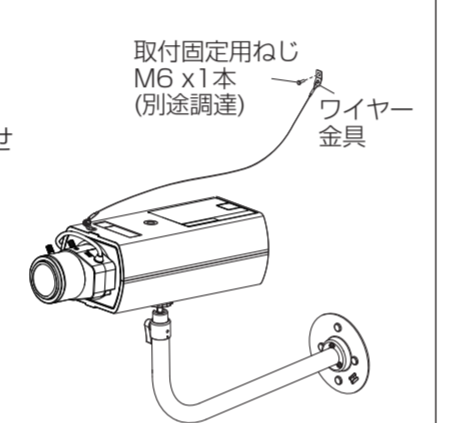


- 【3】ロックレバーをゆるめて雲台を解除する。カメラ本体の取付ねじ穴にねじ山を合わせ、雲台を矢印の方向に回してカメラ本体を取り付け固定する。ロックレバーを締めて雲台を固定する。



重要
●必ず雲台を回して固定してください。カメラ本体を回すと雲台に大きな負担がかかり、破損するおそれがあります。

- 【4】落下防止ワイヤーを取付固定用ねじ1本(別途調達)で壁面に固定する。(最低引抜強度 724 N {74 kgf} 以上)
取付固定用ねじは、取付場所の材質に合わせて調達してください。



重要
●落下防止ワイヤーはカメラより高い位置に固定してください。万一本機が外れた場合でも、周囲の人に当たらないように落下防止ワイヤーを取り付けてください。

Step4 調整する

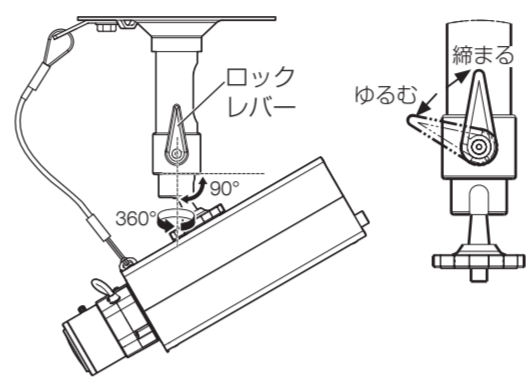
- 【1】カメラの方向を調整する。

カメラ取付台のロックレバーをゆるめて、調整用モニターを見ながら、方向を調整します。方向を調整したあとは、必ずしっかりとロックレバーを締め直してください。

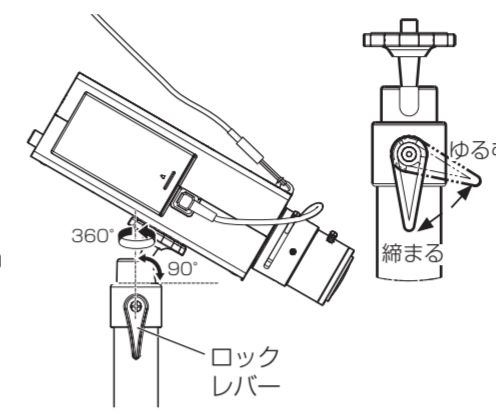
重要

●カメラの方向を調整する場合は、必ずカメラ取付台のロックレバーをゆるめてから調整してください。ロックレバーが締められた状態で方向を変えると、カメラ取付台やカメラに無理な負荷がかかり、破損の原因になります。

WV-Q180 の場合

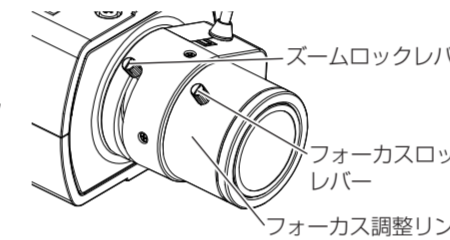


WV-Q181 の場合



- 【2】画角、フォーカスを調整する。

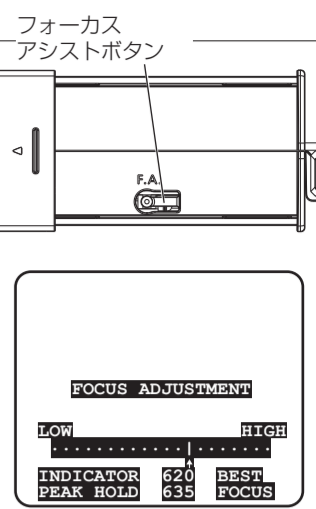
- ①ズームロックレバーをゆるめ、被写体に応じてズームロックレバーを持って回して画角(視野角)を調整します。
- ②ズームロックレバーを締め付けます。



メモ

●ズームロックレバーをW方向(T方向)いっぱい合わせると、フォーカスがうまく調整できない場合があります。その際は、ズームロックレバーをT方向(W方向)側へ少し戻して、フォーカスを再調整してください。

- ③フォーカスアシスト (F.A.) ボタンを押して「FOCUS ADJUSTMENT」画面を表示します。
- ④フォーカスロックレバーを緩め、フォーカス調整リングを端から端までゆっくりと動かすと、「PEAK HOLD」の最大値が自動的に保存されます。
- ⑤フォーカス調整リングを回すと、現在のフォーカス状態が「INDICATOR」に数値で表示されますので「PEAK HOLD」の値に近くなるように調整します。
- ⑥フォーカスが合う位置に調整すると「BEST FOCUS」と右下に表示されます。
- ⑦フォーカスロックレバーを締め付けます。
- ⑧フォーカスアシスト (F.A.) ボタンを押し、「FOCUS ADJUSTMENT」画面を終了します。



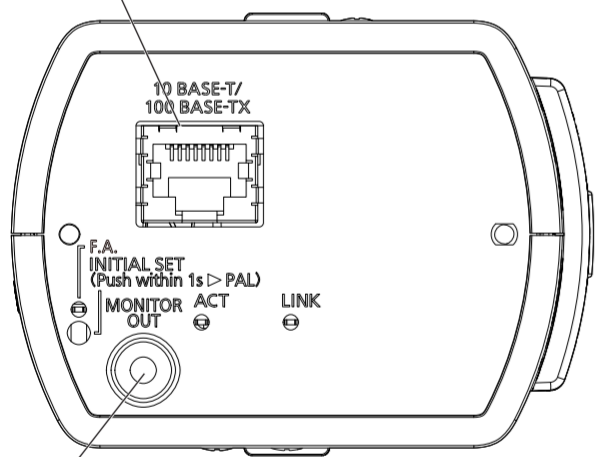
メモ

- 被写界深度を広く取る方法
近傍や遠方の全体にフォーカスしたいときは、フリッカレスモードに設定するか、マニュアルフォーカス調整で中間位置にフォーカス調整してください。
- 以下のような被写体の場合は、フォーカスアシスト機能を使用せず、画像を見ながら手動で最適なフォーカス位置に合わせてください。
 - ・動きが多いまたは 照度変化が大きい被写体
 - ・低照度
 - ・窓越し
 - ・白壁など明暗が少ない
 - ・ちらつきが激しい
- 調整の途中で画角が変わってしまった場合は、フォーカスアシスト (F.A.) ボタンを押していったん「FOCUS ADJUSTMENT」画面を終了させてください(画角が変化すると「PEAK HOLD」、「INDICATOR」の数値が変化してしまうため)。画角を固定したのち、フォーカスの調整をやり直してください。
- 撮像環境によって、「BEST FOCUS」表示に誤判定を生じる場合があります。撮像モードを30 fpsモード(SD OFF)に切り替えることで誤判定を軽減することが可能です。撮像モードの切り替え方法については、取扱説明書 操作・設定編 (CD-ROM内) をお読みください。

Step3 各種ケーブルを接続する

■ 各端子の使用条件は付属CD-ROM内の「取扱説明書 基本編」をお読みください。

- 【1】ネットワーク端子 (RJ45)



- 【7】MONITOR OUT端子 (映像出力端子 工場出荷時: NTSCモニター用)

重要

●設置作業中に電源が入らないようにシステムの電源 (PoEハブやカメラに給電する装置の電源など) を切断しておいてください。

- 【1】ネットワーク端子にEthernetケーブルを接続する。

- 【2】MONITOR OUT端子にピンプラグケーブルで調整用モニターを接続する。

- 【3】カメラの電源を入れる。

Step5 ネットワークに接続する

弊社技術情報ウェブサイト (https://i-pro.com/jp/ja/support_portal/technical_information/) の「IP簡単設定ソフトウェア」<管理番号: C0123>または「i-PRO設定ツール (iCT)」<管理番号: C0133>をダウンロードして起動し、ネットワークに接続する。